

## 平成27年度 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会 事業報告書

(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

平成27年度、大田原社会福祉協議会は、下記の4つの事業に重点を置き、関係機関や団体と密接に連携・協働を図りながら、各種事業に取り組みました。

4月に施行された「生活困窮者自立支援法」に基づき、市から「自立相談支援事業」を受託し、法律や制度では解決が困難な問題を抱えた方の相談を受け、それぞれの相談者に見合った必要な支援を行いました。

市内12のすべての地区で見守り組織が立ち上がった安心生活見守り事業においては、関係機関の協力のもと、誰もが元気でいきいきと住み慣れた地域で暮らせるように、地域ぐるみの見守り活動が展開されています。大田原市の見守り活動の取り組みは全国でも高く評価され、多くの視察団体が研修に訪れました。27年度も関係機関の協力をいただき、認知症による徘徊者を想定した声かけ訓練を行いました。

6月には、市内を3地区に分けて、「おおたわら福祉教育（ふくし共育）研修会」を開催し、教育関係者、地域の方々など177名の参加がありました。「学校と地域がつながるふくし共育」を企画し、子どもたちの「ふくしの学び」を育む研修となりました。

災害にも強い地域づくり事業として、「足湯ボランティア講座」を開催し、63名の方が参加、災害ボランティアとしての意識を醸成しました。さらに、福島県富岡町への被災地支援として、17名がふくし祭りの支援ボランティア活動を行いました。

平成23年に作成した「社協職員災害時行動の手引き」の改訂を行い、災害時の対応のみではなく、復旧時、復興時、平常時においても社協職員のとるべき行動を明確にすることに努めましたが、9月には関東・東北豪雨災害が発生。大きな被害を受けた県内外の被災地へ赴き、国際医療福祉大学やボランティアの方々のご協力を得て支援活動を行いました。また、東日本大震災の被災地への支援もボランティアの方々と共に続けています。

このほかに高齢者や障害者、その家族など介護や生活支援を必要とする方へのサービスとして、介護保険による居宅介護支援事業・訪問介護事業、障害福祉サービス事業、日常生活自立支援事業（あすてらすおおたわら）などを実施しました。

### ＝平成27年度重点事業＝

- (1) 生活困窮者自立支援事業
- (2) 安心生活見守り事業
- (3) 福祉教育（ふくし共育）推進事業
- (4) 障害者児相談支援事業

## 目 次

□ 事業実施状況	4
I 地域福祉の推進・発展のための人づくり、地域づくり事業	4
1 安心生活見守り事業	4
① 安心生活見守り事業	4
ア 各地区の状況	4
イ 安心生活見守り事業関連の視察受入れ一覧	12
ウ 安心生活見守り事業 会議等	12
2 地域福祉活動計画の推進	13
① 第2次地域福祉活動計画推進事業	13
3 小地域福祉活動	13
① 福祉委員（小地域福祉ネットワーク）活動推進事業	13
② 地区社会福祉協議会活動支援事業	14
ア 地区社協連絡会議の開催	14
イ 食事サービス事業への支援	15
③ 友愛訪問活動への支援	16
4 ボランティア活動の振興	16
① ボランティアセンター事業	16
ア 中高生が考える福祉のまちづくり in 大田原	16
イ 災害ボランティア講座	17
○ 足湯ボランティア講座	17
○ 被災地支援から学ぶ～富岡町お祭り支援ボランティア～	17
ウ 市民のまちづくり事業	17
エ 市ボランティア連絡協議会との連携・協力	18
オ ボランティア保険の加入促進	18
カ ボランティア登録の推進	18
キ ボランティア活動機材の貸与	18
② 災害にも強い地域づくり事業の推進	19
ア 災害ボランティアセンター運営連絡会の開催	19
イ 「社協職員災害時行動の手引き」第2回改訂版の作成	19
ウ 関東・東北豪雨災害支援活動	19
5 福祉教育（ふくし共育）推進事業	20
① 福祉教育（ふくし共育）推進事業	20
ア 福祉教育副読本「ともに生きる」の発行	20
イ 学校等の福祉教育への支援	20
ウ 学童・生徒のボランティア活動普及事業	22
エ おおたわらふくし共育研修会の開催	22
② 地域福祉啓発イベント開催事業	22
ア ぼくらのまちのウォークラリーの開催支援	23
③ 広報充実事業	23
ア 機関紙「おおたわら社協だより」等の広報活動の推進	23
④ 社会福祉士養成課程実習生の受入れ	23
II 福祉サービスを利用しやすくするための支援事業	23
1 総合相談事業の実施	23
① 生活困窮者自立支援事業	23
② 心配ごと相談事業	24
③ 福祉金庫貸付事業	25
④ 生活福祉資金貸付事業	25
2 日常生活自立支援事業	26

①	日常生活自立支援事業（あすてらす）	26
Ⅲ	在宅福祉サービス実施事業～民間事業者の参入しにくい地域への展開～	26
1	介護保険サービス	26
①	訪問介護事業	26
②	居宅介護支援事業	27
③	受託訪問介護事業の推進	27
④	介護予防支援事業の業務委託	27
2	障害福祉サービス	27
①	障害福祉サービス事業	27
3	その他のサービス	28
①	ねたきり高齢者等紙おむつ等給付事業	28
②	日常生活用具貸与事業	29
③	リフト付き自動車貸出事業	29
④	高齢者等外出支援事業	29
⑤	福祉サービス適正化事業	29
⑥	大田原市介護支援ボランティアポイント制度	29
Ⅳ	法人の基盤強化事業	30
1	福祉のまちづくり市民参加運営事業	30
①	理事会・評議員会の開催	30
②	会員加入の推進	32
2	基金・寄付事業	32
①	善意銀行運営事業	32
②	地域福祉基金造成事業	33
③	赤い羽根共同募金事業	34
3	その他	34
①	大田原市福祉センター管理運営事業	34
□	その他の事項	35
1	表彰等受賞者氏名	35
①	8月27日 第21回「県民福祉のつどい」	35
②	11月20日 平成27年度「全国社会福祉大会」	35

## □事業実施状況

### I 地域福祉の推進・発展のための人づくり、地域づくり事業

#### 1 安心生活見守り事業

##### ① 安心生活見守り事業

少子高齢化社会の進展による人口の減少とともに、単身世帯の増加や近隣関係の希薄化など、社会から孤立する人が生じやすい環境となり、従来の見守りや制度からもれる人を社会から孤立させずに支援していく仕組みづくりを行う「安心生活見守り事業」について、大田原市からその一部を受託している。平成21年度から地区社会福祉協議会を実施エリアとして、自治会ごとの見守りや買い物支援などを基盤支援として、市、地域包括支援センター、警察や消防などの関係機関団体と連携し、事業を実施している。

○平成21年度からの進捗状況

平成21年度 黒羽見守り助け合い隊発足

平成22年度 佐久山おもいやり隊発足

平成23年度 紫塚地区見守り隊発足

平成24年度 ちかその思いやり隊、西部地区あったか思いやりの会発足

平成25年度 須賀川地区見守り隊、ゆづかみ見守り隊、東部地区見守り隊発足

平成26年度 両郷地区見守り隊、川西地区見守り隊、金田地区おもいやり隊  
野崎地区見守り隊発足

平成26年度をもって市内全地区の見守り隊が発足した。

#### ア 各地区の状況

##### (1) 黒羽見守り助け合い隊

・ 隊の概要

発足式年月日	平成22年3月16日
自治会数	13自治会
見守り利用者数	134人
隊員数	104人

・ 平成27年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月10日	買い物ツアー（ヨークベニマル那須塩原店）	30人
6月 5日	隊長会議（活動報告、活動計画等）	20人
6月15日	推進会議（活動報告、活動計画等、認サポ）	48人
6月28日	茶話会（北滝・片田・亀久・矢倉）	33人

7月11日	地区隊打合せ（八塩）	8人
8月	暑中見舞い絵手紙配布（黒羽小学校）	
9月7日	隊長会議（ロゴマーク・キャッチフレーズ選定）	14人
9月16日	視察受け入れ（沖縄県南風原町民児協）	20人
9月25日	ロゴマーク・キャッチフレーズ表彰式（黒羽小）	5人
10月7日	地区社協合同視察研修（石巻市）	26人
10月17日	茶話会（堀之内・北区・南区東・南区西）	36人
11月1日	くろばね秋祭り参加（募金活動）	11人
11月19日	買物ツアー（ベイシア那須塩原店）	27人
2月24日	隊長会議（活動報告、活動計画）	18人
3月3日	茶話会（田町・前田・八塩）	30人
3月7日	推進会議（活動報告、活動計画、利用者再確認）	30人
毎月	助け合い隊便りの発行配布	

## (2) 佐久山おもいやり隊

### ・ 隊の概要

発足式年月日	平成23年2月8日
自治会数	17自治会
見守り利用者数	163人
隊員数	126人

### ・ 平成27年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
5月24日	推進会議（要綱改正、活動報告、活動計画）	74人
6月24日	隊長会議（視察研修、茶話会、会食会）	28人
7月24日	隊員視察研修（新潟県新潟市）	34人
8月6日	茶話会（福原地区）	40人
8月21日	会食会	56人
10月23日	隊長会議（買い物ツアー、バザー）	28人
11月15日	佐久山産業文化祭参加（バザー）	—
11月27日	買物ツアー（ザ・ビッグエクストラ那須塩原店）	38人
12月11日	民生委員との情報交換会	12人
2月10日	認知症サポーター養成講座	53人
2月26日	推進会議（活動報告、情報交換）	46人
3月25日	新旧隊長会議	35人

### (3) 紫塚地区見守り隊

#### ・ 隊の概要

発足式年月日	平成23年7月24日
自治会数	7自治会
見守り利用者数	106人
隊員数	72人

#### ・ 平成27年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月28日	新旧隊長会議（活動報告、活動計画）	24人
5月23日	推進会議（活動報告、活動計画、グループワーク）	44人
5月27日	地区隊打ち合せ（深川）	10人
6月11日	隊長会議（会食会）	23人
6月13日	地区隊打ち合せ（沼の袋）	7人
7月 6日	会食会	83人
7月30日	隊長会議（認サポ等）	18人
8月22日	認知症サポーター養成講座	37人
9月26日	ふれあい広場展示	—
10月 8日	隊長会議（認知症はいかい声かけ訓練）	13人
10月17日 ～18日	西地区文化祭 （西部地区あったか思いやりの会と合同）	—
11月 5日	認知症はいかい声かけ訓練	95人
12月12日	普通救命講習	24人
12月16日	認知症はいかい声かけ訓練振り返り研修	48人
2月18日	隊長会議（活動報告、活動計画）	16人

### (4) ちかその思いやり隊

#### ・ 隊の概要

発足式年月日	平成24年11月30日
自治会数	9自治会
見守り利用者数	186人
隊員数	115人

#### ・ 平成27年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月 9日	推進会議（活動報告、活動計画）	81人
5月21日	隊長会議（認知症サポーター養成講座）	25人
6月25日	認知症サポーター養成講座	51人
7月10日	隊員視察研修（福島県いわき市）	36人
7月23日	隊長会議（買い物ツアー、会食会、バザー）	25人
8月26日	買い物ツアー（ザ・ビッグエクストラ那須塩原店）	42人
10月 8日	会食会	61人
11月 1日	親園地区文化祭（バザー）	—
12月 4日	民生委員との情報交換会	13人
2月18日	隊長会議	24人
3月 1日	役員推薦委員会	11人
3月29日	新旧隊長会議	34人

#### (5) 西部地区あったか思いやりの会

##### ・会の概要

発足式年月日	平成25年2月4日
自治会数	9自治会
見守り利用者数	226人
会員数	130人

##### ・平成27年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月22日	地区会長会議（活動報告、活動計画）	17人
5月 8日	推進会議（活動報告、活動計画、グループワーク）	87人
5月10日	実取団地茶話会	20人
6月10日	加治屋地区会	20人
7月 2日	会員視察研修（長野県軽井沢町）	33人
8月28日	浅野地区茶話会	36人
9月25日	西原地区茶話会	21人
10月17日 ～18日	西地区文化祭（紫塚地区と合同）	—
10月25日	あったか広場出展	—
11月 6日	認知症サポーター養成講座・茶話会（赤堀東）	43人

1 1月29日	そば会食会・茶話会（西原）	30人
2月15日	地区会長会議（活動報告、活動計画）	15人
3月11日	推進会議（活動報告、活動計画）	85人

## (6) 須賀川地区見守り隊

### ・ 隊の概要

発足式年月日	平成25年10月29日
自治会数	11自治会
見守り利用者数	174人
隊員数	112人

### ・ 平成27年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
5月28日	隊長会議（活動報告、活動計画）	14人
7月28日 ～	隊員による利用者への安否確認、手ぬぐい配布 （全利用者対象）	93人
8月27日	見守り困難ケース会議	9人
10月28日	認知症サポーター養成講座	64人
11月 7日	やみぞあづまっぺ秋の収穫祭り参加（募金活動）	—
11月26日	隊員視察研修（茨城県日立市）	30人
12月 6日	須賀川新そば祭り参加（募金活動）	—
3月16日	隊長会議	23人

## (7) ゆづかみ見守り隊

### ・ 隊の概要

発足式年月日	平成25年11月8日
自治会数	13自治会（地区隊数:11）
見守り利用者数	104人
隊員数	252人

### ・ 平成27年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月 2日	地区説明会（品川）	17人
4月17日	地区説明会（湯津上下）	22人
4月22日	地区説明会（古宿）	7人



5月 2日	地区説明会（中の原）	14人
5月15日	隊長会議（活動報告、活動計画）	24人
5月29日	推進会議（活動報告、活動計画）	30人
6月24日	ふれあいお楽しみ会（地区社協合同）	69人
9月17日	隊長会議（見守り状況、隊員研修について）	19人
10月 3日	天狗王国まつり（啓発会議）	—
10月25日	ゆうあい広場（啓発活動）	—
11月16日	茶話会（湯津上東部地区）	18人
11月18日	隊員研修（認知症サポーター養成講座）	33人
3月10日	隊長会議	18人

## (8) 東部地区見守り隊

### ・ 隊の概要

発足式年月日	平成25年11月19日
自治会数	25自治会
見守り利用者数	154人
隊員数	464人

### ・ 平成27年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月26日	地区説明会（富士見ハイツ）	26人
5月22日	隊長会議（活動報告、活動計画、活動費の配分等）	35人
6月18日	推進会議（活動報告、活動計画、委嘱状の交付等） 隊員研修会（見守り活動DVD視聴）	91人
6月27日	茶話会（富士見ハイツ）	10人
8月27日	隊員研修（認知症サポーター養成講座）	69人
9月24日	隊長会議（活動報告等）	31人
10月12日	ふれあい広場（PR活動）	—
2月25日	隊長会議（活動報告、活動計画案等の検討）	32人

## (9) 両郷地区見守り隊

### ・ 隊の概要

発足式年月日	平成26年6月25日
自治会数	12自治会（9地区隊）
見守り利用者数	165人

隊員数	148人
-----	------

・平成27年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
6月23日	隊長会議（事業報告、事業計画等）	15人
7月14日	隊員研修（特殊詐欺防止）	60人
10月14日	「地域安全のつどい」において表彰を受ける。 （防犯功労者）	—
11月24日	隊員研修（認知症サポーター養成講座）	45人
3月15日	隊長会議	18人

(10) 川西地区見守り隊

・隊の概要

発足式年月日	平成26年11月19日
自治会数	15自治会
見守り利用者数	117人
隊員数	302人

・平成27年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月11日	安心生活見守り事業説明会（余瀬地区）	16人
4月15日	安心生活見守り事業説明会（下町1地区）	17人
4月16日	安心生活見守り事業説明会（桧木沢地区）	20人
5月17日	安心生活見守り事業説明会（桧木沢サンプラザ地区）	6人
5月30日	推進会議（活動内容、委嘱状の交付） 研修会（認知症サポーター養成講座）	134人
5月31日 ～3月25日	認知症サポーター養成講座（各地区で実施、計 13回（地区集会所、旧寒井小学校体育館）	374人
7月15日	隊長会議（活動報告、活動計画、活動費の配分）	29人
10月18日	軽トラ市参加（バザー等）	—
10月20日	認知症サポーター養成講座（黒羽高等学校ボランティア部）	33人
10月27日	笑いヨガ&茶話会	57人
11月27日	隊長会議（事業報告等）	25人
12月17日	茶話会（蜂巢地区）	18人

1月28日	視察研修受け入れ（野木町）	15人
3月4日	隊長会議	—
3月12日	笑いヨガ&茶話会、健康相談（旧寒井小学校体育館）	—
3月25日	認知症サポーター養成講座&茶話会（桧木沢地区）	—
3月30日	安心生活見守り事業説明会（寒井北部）	11人
平成27年度	見守り隊便り、チラシ発行（計8回）	

## (11) 金田地区おもいやり隊

### ・隊の概要

発足式年月日	平成26年11月28日
自治会数	26自治会（32地区隊）
見守り利用者数	152人
隊員数	369人

### ・平成27年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月21日	新旧隊長会議	61人
5月26日	第1回推進会議	69人
9月8日	隊長会議	52人
12月9日	隊長会議・認知症サポーター養成講座	26人
3月23日	隊長会議	47人

## (12) 野崎地区見守り隊

### ・隊の概要

発足式年月日	平成27年2月19日
自治会数	11自治会
見守り利用者数	122人
隊員数	256人

### ・平成27年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月20日	新旧隊長会議	32人
5月14日	推進会議	132人
5月23日	地区説明会（中薄葉・平沢）	10人
7月4日	地区説明会（上石上・下石上・野崎・野崎NT）	12人

7月31日	地区説明会（野崎東町）	12人
8月28日	チーム・隊長会議（事業報告等）	18人
9月18日	地区説明会（上薄葉・薄葉団地・第二・第三団地）	15人
10月25日	野崎文化祭（PR活動）	—
11月6日	チーム・隊長会議（事業報告等）	18人
1月29日	隊長会議（事業報告等予定）	18人
3月25日	隊長会議（新年度活動方針案等予定）	12人

## イ 安心生活見守り事業関連の視察受け入れ一覧

月 日	依頼者	参加人数	内 容
6月9日	前橋市桂萱地区社協	26人	安心生活見守り事業の取り組み
6月17日	栃木市大平地区社協	60人	安心生活見守り事業の取り組み 佐久山おもいやり隊の活動
7月28日	パナソニックOB会 （松愛会）代表	2人	安心生活見守り事業の取り組み
8月5日	日光市豊岡地区社協	25人	安心生活見守り事業の取り組み 佐久山おもいやり隊の活動
9月4日	芳賀町社協	5人	安心生活見守り事業の取り組み
9月16日	沖縄県南風原町民協	20人	安心生活見守り事業の取り組み 黒羽見守り助け合い隊での民生委員の役割
9月30日	佐野市戸奈良地区コミュニティ推 進協議会	20人	安心生活見守り事業の取り組み
10月21日	水戸市双葉台支部社協	20人	安心生活見守り事業の取り組み
11月4日	桧原村社協	12人	安心生活見守り事業の取り組み
11月11日	栃木県民児協、栃木県社協	200人	黒羽見守り助け合い隊における民生委員の活動に ついて（稲葉黒羽地区民児協会会長発表）
1月28日	野木町社協	10人	安心生活見守り事業の取り組み
2月26日	いわき市常磐地区協議会	30人	安心生活見守り事業の取り組み
合 計		430人	

## ウ 安心生活見守り事業 会議等

月 日	内 容	会 場
-----	-----	-----

2月22日	安心生活見守り事業推進会議（情報交換会）	大田原西地区公民館
-------	----------------------	-----------

### ○救急医療情報キットの普及支援

大田原市が平成24年10月から配布した「救急医療情報キット」に関し、市社協では、各地区の民生委員や見守り隊員（会員）と協力して、見守り利用者に対し救急医療情報キットの説明、申請代行、配布を行った。

平成27年度配布本数229本（本所：221本、黒羽支所：8本）

## 2 地域福祉活動計画の推進

### ① 第2次地域福祉活動計画推進事業

平成25年度に市や地域住民とともに策定した、基本目標を『おたがいを おもいやり たのしく わらってくださるまち 大田原』とした、第二次地域福祉計画・地域福祉活動計画(平成26年度から30年度)を、市、関係機関・団体とともに協働しながら進めた。計画の進捗状況を施設・団体、市、社会福祉協議会に分けて、事業項目ごとに取り組み状況を調査した。

## 3 小地域福祉活動

### ① 福祉委員（小地域福祉ネットワーク）活動推進事業

福祉委員は、各自治会長の推薦により173名が活動を行った。小地域福祉ネットワーク活動の推進役として、福祉委員は民生委員・児童委員をはじめ、隣近所やボランティアなどの協力を得ながら、見守り対象者を把握し、高齢者等に対する見守り活動や地区社協の食事サービス活動支援等を行った。

ア 福祉委員活動に関するアンケートの実施（1月）

イ 見守りネット通信の発行（3月）

ウ 民生委員児童委員・福祉委員連絡協議会の開催

地域の見守り活動の推進役である福祉委員の理解促進を図るとともに、身近な相談役である民生委員児童委員とのつながりを目的に開催した。

No.	地 区	月 日	場 所
1	湯津上地区	7月15日（水）	市湯津上庁舎
2	黒羽地区（黒羽・須賀川）	8月 3日（月）	黒羽川西地区公民館
3	黒羽地区（川西・両郷）	8月10日（月）	黒羽川西地区公民館
4	金田地区	9月 1日（火）	金田北地区公民館

5	大田原東部地区	9月 2日 (水)	大田原東地区公民館
6	野崎地区	9月 10日 (木)	市福祉センター
7	大田原西部地区・紫塚地区	9月 17日 (木)	大田原西地区公民館
8	親園・佐久山地区	9月 30日 (水)	佐久山地区公民館

## ② 地区社会福祉協議会活動支援事業

地区社会福祉協議会が実施する事業活動について、支援を行うとともに、加入普通会員一人当たり250円の活動助成金を交付した。

各地区社会福祉協議会の主な事業活動は、次のとおりであった。

### ア 地区社協連絡会議の開催

地区社協の(住民の主体的な助け合い)活動の意義や今後の地域での取り組み、今後の福祉のまちづくりについて学び考えることを目的に開催した。

- ・日 時：3月10日(木) 午後1時30分～午後3時30分
- ・場 所：市福祉センター
- ・参加者：地区社協関係者46人
- ・内 容：

講話「つながる かかわる すすめる 地域(地区社協)の活動」

講師 国際医療福祉大学 医療福祉・マネジメント学科 林 和美准教授

グループでの話し合い

地区社協名	助成金	主な事業活動
大田原東部地区社協	523,750円	ふれあい広場、食事サービス(月1回) 「東部社協だより」の発行等
大田原西部地区社協	652,500円	あったか広場、食事サービス(月4回) 「あったかだより」の発行等
紫塚地区社協	320,250円	ふれあい紫広場、食事サービス(月3回) 「むらさきづか社協だより」の発行等
金田地区社協	713,250円	食事サービス(月2回)、研修会等
親園地区社協	216,250円	食事サービス(月2回)、「親園福祉だより」の発行等
野崎地区社協	444,450円	ふくしのまち野崎文化祭、食事サービス(月4回) 「ふくしのまち野崎」の発行等
佐久山地区社協	168,750円	食事サービス(月2回)、「さくやま福祉だより」発行等

湯津上地区社協	257,000円	友愛訪問食事サービス(月1回)、世代間交流事業(縄よじり・豊年棒づくり)、地区社協だより「ゆうあい」の発行(2回)、ふれあい友愛広場「ゆうあい」の発行(2回)、ふれあいゆうあい広場
黒羽地区社協	261,000円	友愛訪問食事サービス(月1回)、ふれあいサロン(ひとり暮らし高齢者会食会-川西地区社協と合同、「黒羽地区社協だより」の発行等
川西地区社協	328,000円	友愛訪問食事サービス(年6回)、ふれあいサロン(ひとり暮らし高齢者会食会-黒羽地区社協と合同、「川西地区社協だより」の発行、ふれあい敬老会支援
両郷地区社協	134,500円	学校安全パトロール、見守り連絡体制づくり、友愛訪問食事サービス(年10回)、地区社協だより発行、ふれあい敬老会支援
須賀川地区社協	133,000円	友愛訪問食事サービス(年6回)、ひとり暮らし高齢者会食会、ふれあい敬老会支援
計	4,152,700円	

### イ 食事サービス事業への支援

各地区社会福祉協議会等が実施している、ひとり暮らし高齢者等を対象とした、「食事サービス事業」に対して、1食あたり400円の助成を行った。配布時には見守り活動も兼ねている。

地区社協名	27年度食事数	実施回数	対象者数	前年度食事数
大田原東部地区社協	856食	12回	74人	901食
大田原西部地区社協	2,028食	48回	56人	1,917食
紫塚地区社協	2,179食	37回	69人	1,995食
金田地区社協	801食	24回	38人	821食
親園地区社協	206食	24回	9人	249食
野崎地区社協	899食	47回	25人	877食
佐久山地区社協	609食	27回	25人	467食

湯津上地区社協	590 食	12回	55 人	730 食
黒羽地区社協	738 食	10回	75 人	728 食
川西地区社協	518 食	6回	91 人	495 食
両郷地区社協	310 食	12回	34 人	270 食
須賀川地区社協	233 食	7回	58 人	244 食
市ボランティア連絡協議会 (黒羽支部)	575 食	4回	289 人	560 食
合 計	10,542 食	270回	898 人	10,254 食

(助成総額 4,216,800円 内共同募金から 3,791,697円)

### ③ 友愛訪問活動への支援

地域のひとり暮らしや寝たきりの高齢者等の孤立を防止し、社会参加を促進することをねらいに、いきいきクラブの協力を得て、月2回～3回の友愛訪問活動を実施し1クラブあたり5,000円の助成を行った。(平成27年度は、27クラブに助成)

## 4 ボランティア活動の推進

### ① ボランティアセンター事業

#### ア 中高生が考える福祉のまちづくりin大田原

地域で育った中高生が、今何を考えているのか？

地域に住む方や障がい当事者の方との話し合いや交流の中から、地域の課題などを考えていくこと、湯津上地区の過去・現在の生活課題を知ること、今後自分が生活していく地域でどのようなことが問題となってくるのか、また、誰もが安心して暮らせる福祉のまちにするために自分たちに何ができるのかを考え、今後の福祉のまちづくりの担い手となるような人材を育成することをねらいとした。

- ・日 時：8月25日(火) 午前10時～午後3時30分
- ・場 所：湯津上地区公民館 研修室
- ・参加者：50名
- ・テーマ：「伝えていこう！湯津上のつながり」
  - 講話 「傾聴についての話」
  - 炊き出し訓練
  - 講話 「話し合いの基礎づくり」
  - 地域の方のお話
  - グループ座談会      ○グループ発表



## イ 災害ボランティア講座

災害発生時には、行政、社協、ボランティア団体等が協働で取り組むことが必要であり、災害発生時に協力し合えるつながりづくり、また、災害ボランティア並びにボランティアリーダーを育成することをねらいに実施した。

### ○ 足湯ボランティア講座

- ・日 時：9月13日（日） 午前9時30分～午後1時
- ・場 所：大田原西地区公民館2階会議室・市福祉センター研修室
- ・出席者：61名（参加者43名 本会職員18名）
- ・講 師：認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク事務局長 矢野正広氏
- ・内 容：
  - ・足湯ボランティアをやってみよう
  - ・災害ボランティアのこんなとき、あなたならどうする？
- ・社協職員の参加：災害発生時において、市民の生活を支えるために社協職員がかかわるといふ共通の認識をもち、日頃から業務の中で災害に備えるため、職員も講座を受講した。

### ○ 被災地支援から学ぶ～富岡町お祭り支援ボランティア～

- ・日 時：10月31日（土）午前6時～午後6時50分
- ・場 所：富岡町役場いわき支所（福島県いわき市平北白土字宮前）
- ・参加者：17名
- ・内 容：
  - ・レクチャー「被災地の現状とボランティア活動」
  - ・富岡町ふくし祭り支援

## ウ 市民のまちづくり事業（市・大学ボランティアセンターとの共催）

市政策推進課・生涯学習課・国際医療福祉大学IUHWボランティアセンターとの共催で、市民のまちづくり事業を実施した。社協は福祉ボランティア育成の事業という観点も含めて運営委員会の支援を行った。

- ・運営委員 20名
- ・運営委員会 8回開催
- ・イベントの開催

「絆（つながる）フェスタ～見たい・行きたい 住みたい大田原～」

日 時：11月29日（日）午前10時～午後4時

場 所：大田原市生涯学習センター

参加者：104名

内 容：基調講演「市民のまちづくり～その可能性を考える～」

講 師 宇都宮大学教育学部長 陣内雄次教授

分 科 会 ①災害：DIG 災害図上訓練をやってみよう！

②居場所づくり：誰でも集える居場所づくり

- ③子育て：子どもは地域の宝 みんなで笑顔で育てよう！
- ④おおたわら再発見：大田原の自然・歴史・文化
- ⑤生きがいつくり：目指そう大田原市民の生きがいつくり
- ⑥情報発信：実践的な情報発信の方法を学ぼう

## エ 市ボランティア連絡協議会との連携・協力

市ボランティア連絡協議会が実施する各種福祉活動（与一まつりしあわせ広場、手作り弁当の配布等）への連携・協力を行った。

## オ ボランティア保険の加入促進

種 別	年間保険料	死亡保険金額	加入者数	前年度加入数
Aプラン	300円	1,200万円	2,256人	2,591人
Bプラン	450円	1,800万円	456人	419人
天災タイプA	430円	1,200万円	60人	59人
天災タイプB	650円	1,800万円	55人	66人
計			2,837人	3,135人

## カ ボランティア登録の推進

ボランティア情報紙「だいすき」での情報の提供、県等から送付されるボランティア情報の提供、各福祉施設のボランティア要請情報の提供等を行った。ボランティアに関する相談に応じ、ボランティア活動をして欲しい人とボランティアしたい人の橋渡し（ボランティアコーディネート）を行った。

区 分	団体数	登録者数	ボランティア相談	ボランティアコーディネート
平成27年度	145団体	4,573名	48件	25件

## キ ボランティア活動機材の貸与

点字プリンター、点字盤、アイマスク、車いす等を貸与し、ボランティア団体や、小・中学校の「総合的な学習の時間」を活用した福祉教育の支援に努めた。

品 目	延べ利用件数	品 目	延べ利用件数
車いす	98 台	カセットテープレコーダー	0 回
アイマスク	11 枚	移動式スクリーン	0 回
点字盤	86 台	ビデオ・DVD	1 回
点字プリンター	0 台	書籍等	5 回

高齢者擬似体験用具	96台	その他	294回
-----------	-----	-----	------

## ② 災害にも強い地域づくり事業の推進

### ア 災害ボランティアセンター運営連絡会の開催

災害時のボランティア活動支援を迅速かつ円滑に開設・運営できるよう、また日常の関係団体・機関等の連携を進めるため設置している災害ボランティアセンター運営連絡会を開催した。

「大田原市災害ボランティアセンター」は「大田原市地域防災計画」に基づき、大規模災害発生時などに、災害ボランティアの活動拠点として市社協に設置されるもので、被災地の復旧・復興支援のためのボランティア受入と活動の支援を行うものである。

- 構成団体：市民生委員児童委員協議会連合会・市ボランティア連絡協議会・那須野ヶ原青年会議所・IUHWボランティアセンター（国際医療福祉大学）・大田原市（保健福祉部福祉課・総合政策部危機管理課）・市社会福祉協議会

#### ○連絡会の開催（委員14名・オブザーバー 2名）

開催日	内 容	出席者数
3月17日	・ 関東・東北豪雨災害支援活動から ・ 各団体の活動についての情報交換 他	12名 オブザーバー2名

### イ 「社協職員災害時行動の手引き」第2回改訂版の作成

「大田原市地域防災計画」で市社協の活動が位置づけられており、日頃から災害に備えておく必要がある。災害発生時に、社協職員が早急かつ円滑に実効性のある支援活動を実施するために、また、災害発生時だけでなく、復旧時、復興時、平常時において、地域福祉を進める社協職員がどのように行動するか、基本を明確にするために平成23年に作成した手引書を改訂した。

### ウ 関東・東北豪雨災害支援活動

#### ○職員の派遣

栃木県・市町社会福祉協議会災害時支援に関する協定により、県内で被災した地域の災害ボランティアセンター（鹿沼市・日光市）へ、延べ23名の職員を派遣した。支援内容として、災害ボランティアセンターの運営支援（受付・ニーズ受付・現地調査・マッチング・現地コーディネート）、泥出し等の活動を行った。

#### ○被災地支援ボランティア

- ・ 茨城県常総市支援 災害ボランティアバス運行（大田原市・市社協共催）

日 時：11月6日（金）午前5時30分～午後6時30分

場 所：茨城県常総市

参加者：19名

内 容：常総市災害ボランティアセンターの依頼による活動（泥出し、清掃等）

- ・茨城県常総市避難者支援 有志による足湯ボランティア

日 時：10月20日、10月26日、11月19日（計3回）

場 所：茨城県常総市避難所 水海道あすなろの里

参加延べ人数：14名

内 容：避難所での足湯ボランティア・お茶会・話し相手等

その他：とちぎボランティアネットワークと連携

## 5 福祉教育（ふくし共育）推進事業

### ① 福祉教育（ふくし共育）推進事業

#### ア 福祉教育副読本「ともに生きる」の発行

平成24年度に第5回改訂を行った福祉教育副読本「ともに生きる」を、市内の小学校1年生（780部）、4年生（800部）、及び中学1年生（830部）を対象に配布し、義務教育年代における福祉教育の振興に努めた。

#### イ 学校等の福祉教育への支援

小・中学校等の学校教育の現場へ、障がい当事者や、福祉教育支援ボランティア「ささえ」を中心とする地域のボランティアとともに社協職員が出向き、児童・生徒に対する福祉教育を支援した。

福祉とは「**ふ**だんの**く**らしの**し**あわせのためのもの」であり、自分やまわりの人にも関係するものであることを児童・生徒に伝えた。

そして、学校からの相談に応じ、講師との調整や資料提供などコーディネートを行った。その際には、子どもたち自身が地域でつながりをもって暮らしていけるよう、地域で「共に生きる力」をつけることを目的に、地域に暮らす障がい当事者や地域福祉活動をしている方と、児童・生徒をつなぐ働きかけを行った。他に児童・生徒の相談に応じた。

#### ○学校等への福祉教育支援状況一覧

	実施日	学校等	対象	参加者数	内 容
1	6月11日	薄葉小	6年生 保護者	70人	福祉の話、高齢者擬似体験、アイマスク、車いす
2	6月19日	佐久山小 福原小	4年生	16人	福祉の話、車いす、高齢者擬似体験

3	6月30日	川西小	4年生	33人	福祉の話、車いす利用者の話・車いす、高齢者疑似体験
4	7月1日	薄葉小	6年生	35人	「うすばっ子のおしゃべり会」地域の方(6名)の話聞く
5	7月4日	佐良土小	3年生	14人	車いす
6	7月7日	市野沢小	4年生	63人	福祉の話、車いす、高齢者疑似体験
7	7月11日	佐良土小	1年生	10人	アイマスク
8	7月14日	佐良土小	2年生	9人	手話体験
9	7月14日	佐良土小	4年生	13人	ふくしの話・車いす体験ふりかえり
10	7月14日	両郷中央小	4年生	8人	福祉の話、高齢者疑似体験
11	9月2日	佐良土小	4・5年生	25人	ふくしの話・高齢者疑似体験
12	9月8日	湯津上小	4年生	19人	ふくしの話・高齢者疑似体験、アイマスク
13	9月9日・10日	西原小	4年生	160人	福祉の話、高齢者疑似体験、年をとることワークショップ
14	9月11日	親園中	3年生	36人	福祉の話、障がい当事者の話と交流(6名)
15	9月14日	福原小	4年生	7人	ワークショップ、車いす体験
16	9月17日	両郷中央小	4年生	8人	見えない方の話と交流、点字
17	9月18日	福原小	4年生	7人	車いす利用者の話と交流
18	10月1日・5日	西原小	4年生	160人	見えない方の話・点字体験
19	10月3日	佐良土小	6年生	7人	介護体験
20	10月5日	奥沢小金丸小	5年生	25人	福祉の話、高齢者疑似体験、車いす体験、車いす利用者と交流
21	10月6日	金田南中	3年生	31人	福祉の話、障がい当事者の話と交流(6名)
22	10月27日	西原小	4年生	160人	車いす利用者の話
23	10月27日	親園小	4年生	30人	福祉の話、障がい当事者の話と交流(4名)・車いす・アイマスク・手話体験
24	10月29日	大田原小	5年生	80人	福祉の話、高齢者疑似体験、手先の体験、車いす
25	11月2日	西原小	4年生	160人	中途失聴・難聴の方の話
26	11月6日	市野沢小	4~6年生	200人	目の見えない方の話
27	11月13日	蛭田小	4年生	15人	アイマスク、高齢者疑似体験
28	11月19日	親園小	5年生	23人	福祉の話、高齢者疑似体験、ちかその思いやり隊の話

29	1月18日	薄葉小	4年生	35人	手話体験、ろう者との交流
30	1月26日	薄葉小	4年生	35人	点字体験、見えない方との交流
31	2月18日	石上小	4年生	20人	車いす利用者の話と交流、車いす体験
				1,514人	

## ウ 学童・生徒のボランティア活動普及事業（“小地域で考える”福祉教育推進モデル事業）

「福祉教育事業」を他の地域福祉事業と連携し、地域の力をより効率よく実施し、地域住民と子どもたちの協働の「学びのための企画（仕掛け）づくり」を推進し、福祉教育の基盤を強化するため、本年度は、各校への福祉教育支援や社協職員への研修をはじめ、福祉教育研修会など、学校と地域が共に学び育むための基礎的な共通理解を得た。

## エ おおたわらふくし共育研修会の開催

子どもたち自身が、自分が暮らす地域の中でつながりがもてるように、「地域でともに生きる力」を育むことが求められている。地域全体で福祉教育（ふくし共育）を推進する体制を作っていくために、ふくし共育への理解を深め、共通認識をもつこと、学校と地域の具体的なつながりづくりを進めること、「できること・やってみたいこと」を学校と地域で考えることを目的として、学校を中心とした地区ごとの話し合いの場を設けた。

・日時・会場・地区・参加者数（合計177人）

	日 時	会 場	地 区	参加者数
①	6月 4日（木） 午後1時30分～4時30分	市・湯津上庁舎	野崎・親園・ 佐久山・湯津上	66人
②	6月 9日（火） 午後1時30分～4時30分	金田北地区 公民館	西部・東部・ 紫塚・金田	67人
③	6月12日（金） 午後1時30分～4時30分	黒羽・川西 地区公民館	黒羽・川西・ 両郷・須賀川	44人

・参加対象 学校、生涯学習関係者、地区社協、地区見守り隊、民生委員・児童委員、ほほえみセンター、障がい当事者、ボランティアグループなど

・内容 ①説 明 「今日からはじめるふくし共育」  
②ワークショップ 「地域福祉活動と子どもの学びをつなげよう！  
パート2」～わくわく♥ドキドキ作戦会議～

## ② 地域福祉啓発イベント開催事業

## ア ぼくらのまちのウォークラリーの開催支援

「ともに生きるまちづくり」について考える地域福祉啓発イベントを企画・実施する「ぼくらのまちのウォークラリー実行委員会」の支援を行った。

子どもも高齢者もハンディのある人もない人も、すべての人たちが一緒に楽しむ体験を通して、相互の理解を図り、連帯感を高め、「ともに生きるまちづくり」を進めることを目的とするものである。

- ・日 時：10月24日（日）午前9時45分～午後2時
- ・場 所：湯けむりふれあいの丘（湯津上5-776）
- ・参加者：56名 ボランティア37名 実行委員22名

## ③ 広報充実事業

### ア 機関紙「おおたわら社協だより」等の広報活動の推進

機関紙「おおたわら社協だより」の裏面から2ページ分をボランティア情報紙「だいすき」として合わせて発行し、各種事業の周知、理事会・評議員会の動き、ボランティアの紹介や社協の仕事内容紹介、及び市民のみなさんに考えていただく地域の課題等を入れて、紙面の充実に努めた。（年6回市内全戸配布）

また「おおたわらこども社協だより」を発行し、子どもの頃から地域福祉に親しみがもてるよう、また、地域のつながりを考えられるような紙面を作成し、児童・生徒に配布した。（年2回市内小中学校に配布）

## ④ 社会福祉士養成課程実習生の受入れ

開かれた社会福祉協議会として、福祉に携わる人材の育成をねらいに、社会福祉士養成課程の国際医療福祉大学実習生4名を7月30日～9月3日の間受け入れた。実習生を適切に受け入れることで社協職員のOJT等資質の向上や社協の評価にもつながった。

## Ⅱ 福祉サービスを利用しやすくするための支援事業

### 1 総合相談事業の実施

#### ① 生活困窮者自立支援事業

平成27年4月より、市から生活困窮者自立支援事業の「自立相談支援」を受託し、生活上の困難に直面した方に対し、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施するとともに、地域における自立・就労支援等の体制を図れるよう、行政、ハローワーク等の関係機関との連携をとりながら、相談者の困窮からの早期脱却と困窮者を支援する地域づくりを目的に取り組んだ。

No.	相談内容	件数	No.	相談内容	件数
1	病気や健康、障害のこと	6件	9	地域との関係について	0件
2	住まいのこと	7件	10	家族関係・人間関係	3件
3	収入・生活費のこと	45件	11	子育て・介護のこと	1件
4	家賃やローンのこと	3件	12	ひきこもり・不登校	3件
5	税金や公共料金のこと	3件	13	DV・虐待	1件
6	債務について	0件	14	食べる物がない	3件
7	仕事探し、就職について	9件	15	その他	2件
8	仕事上の不安やトラブル	0件		計	86件

○支援実施延べ回数

No.	相談内容	年間合計
1	電話相談・連絡	141
2	訪問同行・支援	101
3	面談	122
4	支援調整（ケア）会議	12
5	その他他機関との会議（支援調整会議以外）	15
6	他機関との電話照会・協議	55
7	その他	14

② 心配ごと相談事業

市からの受託事業として「心配ごと相談事業」を行った。市民の日常生活上の心配ごとの相談に応じるため、民生委員・児童委員に相談員を委嘱し、福祉センター及び社協各支所内に相談所を開設した。また、随時電話や窓口において生活相談などを受け付けた。

○心配ごと相談開催日

地区	相談日	時間	場所	回数
大田原	毎週金曜日	9:00～正午	市福祉センター	51回
湯津上	毎月第1水曜日	13:00～16:00	佐良土多目的交流センター	12回
黒羽	毎月第1・3木曜日	9:00～正午	社協黒羽支所	23回

○心配ごと相談種別ごとの年間利用状況（総件数26件）

種別	件数	種別	件数	種別	件数	種別	件数	種別	件数	種別	件数
生計	2	職業・生業	0	家族	8	健康・衛生	0	医療	1	人権	0
年金	2	住宅	4	結婚	0	離婚	1	事故	1	財産	2
精神	1	児童	0	教育・	0	心身	1	老人	1	母子	0



衛生		福祉		青少年		障害		福祉		福祉
その他	2	苦情	0							

○その他の相談件数 55件 社協窓口での相談件数 (ボランティア、貸付見守り関係を除く)

### ③ 福祉金庫貸付事業

福祉金庫設置要領に基づき、低所得層に対する生活、医療等の費用の少額資金一時融資を行っている。善意銀行の拠出金を原資として、1借受人2万円を限度に10ヶ月無利子月賦償還する制度として実施している。

○貸付・償還状況 (平成27年度)

前年度末残高 A		1,821,170円	・前年度償還未済額 681,970円
27 年 度	貸付金額 B	1,084,600円	・新規貸出件数62件
	償還金額 C	777,600円	・償還完了件数41件
	不納欠損額 D	0円	・不納欠損件数0件
	預金利子 E	340円	・普通預金利子
	地域福祉事業へ振替 F	0円	・過年度普通預金利子
	残高 G	1,514,510円	年度繰越 (A-B+C+E-F)
	相談	84件	貸付に関する相談

※年度末貸付償還未済額は、988,970円

### ④ 生活福祉資金貸付事業

県社会福祉協議会からの受託事務として、生活福祉資金の貸付・償還事務を行った。貸付種類は「総合支援資金」「福祉資金」「教育支援資金」「不動産担保型生活資金」等4種類である。低所得者世帯、失業者、障害者世帯及び高齢者世帯で、一定の所得基準の範囲内世帯を対象として実施した。

○貸付・償還状況 (平成27年度)

貸付	新規貸付 3件	福祉資金緊急小口資金2件、福祉資金福祉費1件
	貸付中 1件	福祉資金緊急小口資金1件
償還	償還中 50件	総合支援資金10件、福祉資金福祉費8件、福祉資金緊急小口資金11件、教育支援資金16件、離職者支援資金3件、臨時特例つなぎ資金2件

	償還完了 5件	総合支援資金生活支援費1件、総合支援資金一次生活再建費1件、福祉資金中国残留邦人等国民年金追納資金1件、福祉資金福祉費1件、福祉資金緊急小口資金1件
相談	48件	貸付に関する相談

## 2 日常生活自立支援事業

### ① 日常生活自立支援事業（あすてらす）

高齢者、障がい者等で収支の判断が不十分な方の金銭管理や書類預かり等を行う、日常生活自立支援事業（あすてらす おおたわら）を下記のとおり実施した。制度の推進を図るため、社協だよりへ掲載し制度のPRに努めた。

#### ○あすてらす利用状況

平成27年度状況	生活支援利用者数	備 考
年度当初	53名	
新規契約	16名	
解約（死亡・解約）	△15名	死亡4人、申出解約11人（転居他）
平成27年度末現在	54名	

- ・ 専門員 2人      ・ 生活支援員 17人（社協職員5人含む）  
（内訳：大田原11人、湯津上2人、黒羽6人）

#### ・ 主な支援内容

日常的な金銭管理サービス（預貯金の出し入れ、福祉サービス利用料等の支払）、書類等預かりサービス（預金通帳や証書等の預かり） ・ 相談

## Ⅲ 在宅福祉サービス実施事業

### ～民間事業者の参入しにくい地域への展開～

#### 1 介護保険サービス

##### ① 訪問介護事業

	27年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	25,655,157円	29,567,981円	86.8%
年間延べ利用者数	950人	923人	102.9%
月平均利用者数	80人	77人	103.9%
ホームヘルパー数	25人	25人	100.0%

## ② 居宅介護支援事業

	27年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	11,040,490円	12,694,480円	87.0%
年間延べ利用者数	946人	1,047人	90.4%
月平均利用者数	79人	87人	90.8%
介護支援専門員数	4人	4人	100.0%

## ③ 受託訪問介護事業の推進

介護保険の対象とならない自立認定者等に対しホームヘルパーを派遣する「生活支援ホームヘルプサービス事業」を市から受託し、訪問介護事業を実施した。なお、自立認定者が介護保険対象者となり、徐々に減少する傾向にある。

	27年度実績	前年度実績	前年比
年間受託額	217,000円	211,000円	102.8%
年間延べ利用者数	27人	24人	112.5%
月平均利用者数	3人	2人	150.0%

## ④ 介護予防支援事業の業務受託

要支援1・2の判定を受けた方のケアプラン作成を指定介護予防支援事業所（地域包括支援センター）から受託し、介護予防支援事業を実施した。

○受託の状況

	利 用 回 数			受託金額
	初回	2ヵ月以降	合計	
市中央地域包括支援センター	0	59	59	2,008,865円
市西部地域包括支援センター	0	11	11	
市東部地域包括支援センター	10	369	379	
合 計	10	439	449	

(26年度受託金額：1,757,344円 前年比114.3%)

## 2 障害福祉サービス

### ① 障害福祉サービス事業

障害者総合支援法と児童福祉法に基づく在宅サービス事業及び総合支援給付の対象とならないケースへの支援

○計画相談支援事業

	27年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	1,856,946円	1,483,148円	125.2%
年間延べ利用者数	122人	112人	108.9%
月平均利用者数	11人	9.3人	118.3%
相談支援専門員数	1.25人	1.5人	83.3%

○障害福祉サービス（居宅介護）

	27年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	8,979,625円	9,659,381円	93.0%
年間延べ利用者数	317人	317人	100.0%
月平均利用者数	27人	26人	103.8%

○同行援護サービス

	27年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	839,324円	608,263円	138.0%
年間延べ利用者数	75人	53人	141.5%
月平均利用者数	7人	5人	140.0%

○移動支援

	27年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	126,600円	114,350円	110.7%
年間延べ利用者数	16人	21人	76.2%
月平均利用者数	2人	3人	66.7%

### 3 その他のサービス

① ねたきり高齢者等紙おむつ等給付事業

在宅のねたきり高齢者等（要介護3以上及び重度の障害者等）を在宅で介護している方に対し、紙おむつ・尿取りパットを無償給付した。

なお、平成28年度より大田原市が実施することとなるため、市社会福祉協議会は、平成28年3月31日で「ねたきり高齢者等紙おむつ等給付事業」は終了となる。

○給付状況 年間 5,194人(総計 14,787パック)

・給付金額 17,419,276円（前年比99.0%）				
・種類別給付数				
種別	パンツ型	はくパンツ型	フラット型	合計
紙おむつ	1,499パック	3,615パック	19パック	5,133パック
尿とりパット	9,654パック			9,654パック

※パンツ型はくパンツ型は、1パックに約30枚、フラット型は1パックに50枚入

## ② 日常生活用具貸与事業

在宅の寝たきり高齢者及び重度の障がい者等に対して、日常生活用具を貸与することにより、福祉の増進を図ることを目的に、ギャッジベッド、車椅子など2品目について無償貸与した。

### ○品目別貸与状況

地区	貸出件数		保有台数	
	ベッド	車いす	ベッド	車いす
本所	52 件	79 件	21 台	41 台
湯津上支所	0 件	8 件	0 台	4 台
黒羽支所	15 件	8 件	2 台	9 台
計	67 件	95 件	23 台	54 台

## ③ リフト付き自動車貸出事業

車いすを使用していて公共機関の利用が困難な市内在住の在宅者の方に対して、在宅福祉の向上を図るために、車いす用リフト付き自動車を無料で貸し出しを行った。

○リフト付き自動車貸出件数 48件

## ④ 高齢者等外出支援事業

在宅のひとり暮らし高齢者等の通院等に必要な交通の便を確保し、福祉の向上を図ることを目的とした、「大田原市高齢者等外出支援事業」を市から受託し、運行業務、車両管理業務等は、山和タクシー・NPO法人サポートセンター清流に委託し事業の適切な運営に努めた。

○外出支援事業延べ利用回数 15,226回（受委託金額 21,833,800円）

## ⑤ 福祉サービス適正化事業

事業所ごとに苦情解決責任者を設け苦情解決を図った。また6名の委員による第三者委員会を設置している。

## ⑥ 大田原市介護支援ボランティアポイント制度

介護予防のためのボランティア活動「いきいき活動」を通じて、65歳以上の方の社会参加と介護予防の推進を図り、健康でいきいきとした地域社会づくりを推進することを目的に、大田原市介護保険制度の地域支援事業として、市が実施主体となる事業を社協が受託した。27年度は、市との実施内容に関する検証や

話し合いを行うため、介護予防リーダー研修（H28年度からは、当ポイント制度の養成研修として実施）やほほえみセンターへの説明など合同開催並びにQ&Aや周知用チラシの作成など、平成28年度のスタートに向けて、市の計画に沿って準備を行った。

## IV 法人の基盤強化事業

### 1 福祉のまちづくり市民参加運営事業

#### ① 理事会・評議員会の開催

##### ・理事会

○第1回理事会 平成27年5月18日 午後3時30分～ 市福祉センター

＝報告＝

報告第 1号 会長の専決処分事項の報告について（平成26年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会一般会計補正予算（第2号）について

＝議案＝

議案第 1号 平成26年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業報告の認定について

議案第 2号 平成26年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会一般会計収支決算の認定について

議案第 3号 平成26年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会公益事業特別会計収支決算の認定について

＝会計監査報告＝

議案第 4号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会評議員の選任について

○第2回理事会 平成27年5月29日 午後3時30分～ 市福祉センター

＝議案＝

議案第 5号 会長、副会長の選任について

議案第 6号 会長職務代理者の指名について

議案第 7号 会長職務代理者（利益相反・双方代理）の選出について

議案第 8号 常務理事の指名について

○第3回理事会 平成27年12月21日 午後3時30分～ 市福祉センター

＝議案＝

議案第 9号 平成27年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会一般会計補正予算（第1号）について

- 議案第10号 平成27年度善意銀行払い出しの配分について  
議案第11号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款の一部変更について

○第4回理事会 平成28年3月23日 午後3時30分～ 市福祉センター  
＝議案＝

- 議案第12号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会副会長の選任について  
議案第13号 会長職務代理者の指名について  
議案第14号 会長職務代理者（利益相反・双方代理）の選任について  
議案第15号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会特定個人情報等取扱規程の制定について  
議案第16号 平成28年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業計画（案）について  
議案第17号 平成28年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支予算（案）について

・評議員会

○第1回評議員会 平成27年5月25日 午後3時30分～市福祉センター  
＝報告＝

- 報告第1号 会長の専決処分事項の報告について（平成26年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会一般会計補正予算（第2号）について

＝議案＝

- 議案第1号 平成26年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業報告の承認について  
議案第2号 平成26年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会一般会計収支決算の承認について  
議案第3号 平成26年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会公益事業特別会計収支決算の承認について

＝会計監査報告＝

- 議案第4号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会役員の選任について

○第2回評議員会 平成27年12月25日 午後1時30分～ 市福祉センター  
＝議案＝

- 議案第5号 平成27年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会役員の選任について  
議案第6号 平成27年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会一般会計補正予算（第1号）について  
議案第7号 社会福祉法人大田原市社会協議会定款の一部変更について

○第3回評議員会 平成28年3月25日 午後1時30分～市福祉センター  
 =報告=

報告第 2号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会副会長の選任について

=議案=

議案第 8号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会特定個人情報等取扱規程の  
 制定について

議案第 9号 平成28年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業計画(案)  
 について

議案第10号 平成28年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支予算(案)  
 について

議案第11号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会役員の選任について

## ② 会員加入の推進

社会福祉への理解と協力を求め、普通会员、特別会員、賛助会員の加入促進に努めた。

[会員加入の状況]

	会 費	会 員 数	納入会費金額	金額前年比
普通会员	500円	16,611 世帯	8,305,400円	100.0%
特別会員	1,000円	806 事業所	1,068,000円	104.1%
賛助会員	5,000円	28 施設	140,000円	93.3%
計			9,513,400円	100.3%

## 2 基金・寄付事業

### ① 善意銀行運営事業

社会福祉のために役立つようにと市民等から寄せられた金品等の善意の寄付を有効利用できるよう、適正な善意銀行の運営に努めた。

=普通預金会計=

平成27年度収	収入の部	前年度繰越金	4,836,962円	
		預託金額 (H27.4.1～ H28.3.31)	522,579円	預託者(敬称略) 栗原敏子、花梨、やみぞあづまっぺ協議 会、大田原市福祉ふれあいまつり実行委 員会
		預金利子	990円	普通預金利子
		(合 計)	5,360,531円	



支 状 況	支 出 の 部	配分金額	640,000円	・市ボランティア連絡協議会 260,000円 ・市いきいきクラブ 80,000円 ・市身障児(者)保護者会 80,000円 ・市身体障害者福祉会 190,000円 ・市母子寡婦福祉連合会 20,000円 ・須賀川地区見守り隊 10,000円
		(合 計)	640,000円	
	収入支出差引残高		4,720,531円	
物品預託者 (敬称略)	<input type="checkbox"/> 加藤蓮実 タオル25本 <input type="checkbox"/> 連合栃木那須地域協議会 タオル200本 <input type="checkbox"/> 栃木県退職公務員那須北支部 タオル750本 <input type="checkbox"/> 大田原商工会議所女性部 折り紙細工95個 <input type="checkbox"/> 斉藤義昭 タオル70本 <input type="checkbox"/> 大田原高等学校生徒会 雑巾300枚 <input type="checkbox"/> 善養寺圭吾 紙おむつ80袋			

## ② 地域福祉基金造成事業

大田原市における地域福祉の増進に役立てるため「地域福祉基金（ぎんなん基金）」が設けられている。寄附、利息等による基金の運用を行っている。

### ○ 基金運用状況

前年度末基金原資残高 ①	224,306,823円	
平成27年度寄付金額 ②	139,082円	・寄付件数 6件（敬称略） 殿生征志 大田原西部地区社会福祉協議会 大田原ライオンズクラブ女性部 関フミ 紫塚地区社会福祉協議会 ぎんなん基金募金箱
定期預金利息等 ③	1,450,589円	平成23年栃木県公募債利金含
区分間繰入金支出 ④	1,450,589円	
平成27年度原資取崩額 ⑤	9,594,243円	高齢者等紙おむつ等配布事業等
本年度末基金原資残高 ① + ② + ③ - ④ - ⑤	214,851,662円	定期預金へ積立

### ③ 赤い羽根共同募金事業

社

会福祉法人栃木県共同募金会大田原市支会として、10月1日から12月28日まで  
の期間、募金活動を行った。平成27年8月24日に市支会委員会を開催し、募金運動  
に対する取り組み方針、募金配分先を協議した。

#### ○平成27年度共同募金実績一覧

(単位：円)

種 別	募金目標額	募金実績額	達成率 (%)	前年度実績額
戸別募金	5,803,000	5,812,525	100.2	5,823,566
特別募金	3,340,000	3,335,854	99.9	3,362,035
街頭募金	205,000	275,933	134.6	216,342
学校募金	289,000	359,421	124.4	309,876
職域募金	441,000	450,565	102.2	462,976
イベント募金等	152,000	180,462	118.7	173,358
合 計	10,230,000	10,414,760	101.8	10,348,153

#### ○共同募金配分金事業

平成26年度の募金実績に応じて、県共同募金会から6,413,153円が大田原市支  
会に配分された。配分先は以下の通り。

- ・食事サービス助成の一部 3,791,697円 (全4,216,800円助成の一部)
- ・友愛訪問活動支援 135,000円 (27いきいきクラブ)
- ・福祉小冊子「ともに生きる」印刷費 786,456円
- ・各種団体活動助成 700,000円
- ・地区社協活動助成 1,000,000円

## 3 その他

### ① 大田原市福祉センター管理運営事業

市からの委託を受けて、市福祉センターの管理運営にあたり、各種講座や会合、  
集会等に次のとおり利用があった。

区 分	総数	研修室1.2	研修室3	調理室	相談室
市福祉センター	528件	195件	189件	59件	85件

## ○「おもちゃの図書館」の運営

おもちゃ遊びをとおして、障がいのある児童もない児童もふれあい、交流活動が行えるように福祉センター内に設置している「おもちゃの図書館」の運営を行った。

## □ その他の事項

### 1 表彰等受賞者氏名（敬称略）

#### ① 8月27日 第21回「県民福祉のつどい」において表彰

##### ○ 栃木県知事表彰

###### ・ ボランティア

ボランティア・エルム（南金丸）

##### ○ 栃木県共同募金会会長表彰

###### ・ 共同募金関係功労者（自治会長）

後藤仁（元町）、阿久津薫（中田原）、三森正明（黒羽田町）、小室正臣（堀之内）、朝野徳一（築地）、佐藤和夫（奥沢）、猪股爽祐（寒井本郷）、益子賢治（寺宿）、大森幸次（須佐木中）、佐藤貞夫（須佐木下）

##### ○ 栃木県社会福祉協議会会長表彰

###### ・ 民生委員・児童委員功労者（共募奉仕5年）

高木伸夫（中央2）、江連静子（若草1）、森谷浩一（若草1）、葛西愛子（紫塚2）、小室昇（紫塚3）、千本カツ江（末広3）、菊池まゆみ（美原1）、西塚とみ子（美原1）、高橋聖子（本町1）、上木哲雄（美原2）、岡本鈴子（浅香2）、渡邊ハツエ（中田原）、嘉久和よし子（小滝）古沢秀雄（北金丸）、室井祐之（南金丸）、伊藤一郎（倉骨）、尾引博美（佐久山）、藤岡明（薄葉）、佐藤莞治（佐良土）、山上豊子（黒羽田町）、佐久間征夫（前田）、松本茂（桧木沢）、益子安子（寺宿）

###### ・ 優良施設・団体等表彰

両郷給食ボランティア（両郷）、武茂川ボランティア（須佐木）

###### ・ 社会福祉施設・団体関係功労者

萩原直樹（晴風園）、河内久美子（晴風園）、高瀬昌俊（晴風園）

#### ② 11月20日 平成27年度「全国社会福祉大会」において表彰

##### ○ 中央共同募金会会長表彰

###### ・ 共同募金功労者

渡邊勝美（中田原）

###### ・ 全国社会福祉協議会会長表彰

伊藤三良（紫塚2）

